

科目コード	記号	科目名	学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別	
2496	BS11	プログラミング論Ⅱ : Programming Ⅱ	3B	2・90分	必修	講義/演習・通年	履修単位	
教員名		内田保雄:UCHIDA Yasuo、吉川周二:YOSHIKAWA Shuji						
授業概要	<p>プログラミング論Ⅰで習得したプログラミング能力を基礎として、Java言語の基本的な文法や操作方法について学習を進め、プログラマが修得すべき基本的なプログラミング能力を確実なものとしていく。そのためまず、今日のプログラマの必須知識であるオブジェクト指向の概念を理解するとともに実際のプログラミング技法について学ぶ。</p>							
	到達目標			評価方法				
(1)オブジェクト指向の概念について説明できる。 (2)Javaの基本的な文法が説明できる。 (3)さまざまなアルゴリズムをJavaプログラムとして実現できる。			①中間試験(50%)、②期末試験(50%)で評価する。					
学習・教育目標		(B)	JABEE基準1(1)					
授業計画	前期		後期					
	回	項目	内容		回	項目	内容	
	第1	授業の目的と意義	Java言語を学ぶ目的と意義について説明する。		第16	Java言語の基礎(5)	アルゴリズム	
	第2	オブジェクト指向	オブジェクト指向の概念		第17	Java言語の基礎(6)	例外処理	
	第3	Java言語の概要(1)	C言語とJava言語の比較		第18	Java言語の基礎(7)	スレッド	
	第4	Java言語の概要(2)	Java言語の開発手順		第19	Java言語の基礎(8)	イベント処理	
	第5	Java言語の文法(1)	言語要素		第20	GUIの利用(1)	GUI部品	
	第6	Java言語の文法(2)	変数と定数		第21	GUIの利用(2)	レイアウト	
	第7	Java言語の文法(3)	演算子		第22	GUIの利用(3)	フレームとメニューの作成	
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。		第23	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。	
	第9	Java言語の文法(4)	制御文(分岐)		第24	GUIの利用(4)	Swing	
	第10	Java言語の文法(5)	制御文(反復)		第25	ファイル処理(1)	標準入出力	
	第11	Java言語の文法(6)	配列		第26	ファイル処理(2)	ファイルへの書き込み	
	第12	Java言語の基礎(1)	アプレットとアプリケーション		第27	ファイル処理(3)	ファイルの読み込み	
	第13	Java言語の基礎(2)	クラス、オブジェクト、インスタンス		第28	ファイル処理(4)	バイナリファイル	
第14	Java言語の基礎(3)	継承		第29	ファイル処理(5)	ファイルを用いた練習問題		
第15	Java言語の基礎(4)	インタフェース		第30	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また、授業評価アンケートを行う。		
関連科目	プログラミング論Ⅰ、プログラミング演習Ⅰ、プログラミング演習Ⅱ							
教科書	改訂 新Java言語入門 ビギナー編(林晴比古著・ソフトバンク)							
参考書	基礎から学ぶJavaプログラミング(電子開発学園衛星教育センター教材開発グループ編著・エスシーシー)							
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。							
副担当教員								
備考	Webで補足資料を提示する。							